

立山山麓あわすのスキー場

# 索道安全報告書

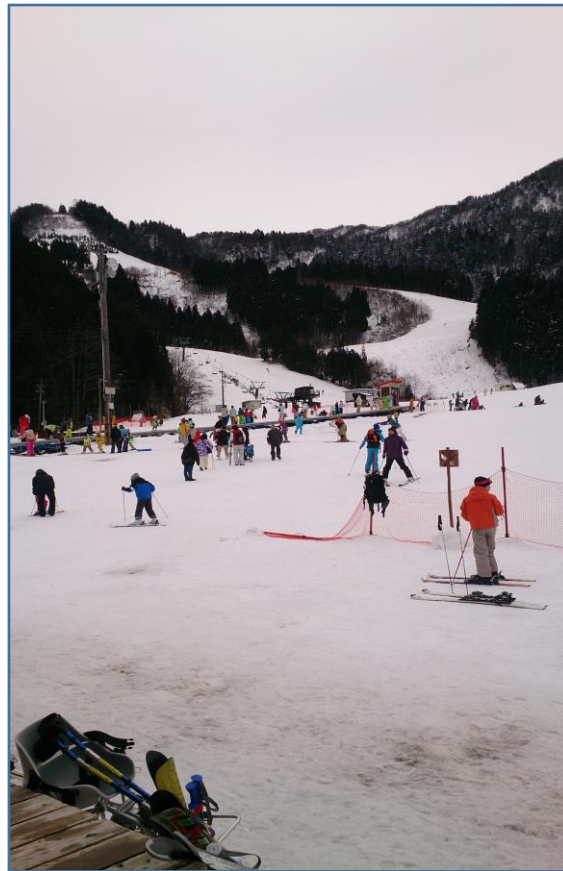
栗巣野第一ペアリフト

栗巣野第二ペアリフト

登坂式ベルトコンベアー「サンキッド」

平成28年度

栗巣野スキー場全景



特定非営利活動法人あわすの  
2016 ~ 2017シーズン

## 索道安全報告書

2016~2017 シーズン、12月17日のオープン当日はなんとか滑走できたものの、20日以降全く雪がなく、休業状態が続きました。

それでも年末にようやく降雪に恵まれ30日から営業に入ることができました。

以後毎日のように4~5センチの降雪のおかげでゲレンデを閉鎖することなくかろうじて営業を続けることができ、1月の半ばから本格的な積雪に恵まれ当初予定の3月20日まで順調に営業をすることができました。

当スキー場では、安全第一、法令厳守を念頭に安全輸送に努めております。

本報告書は鉄道事業法に基づき、2016-2017シーズンにおける安全確保に向けた取り組みなどについて自ら振り返るとともに、ご利用の皆様にも広くご理解をいただくために公表するものです。

これからも、皆様に安全で楽しんでいただけるスキー場を目指してまいります。

特定非営利活動法人あわすの  
理事長 荻原孝夫

### 基本方針と安全目標

経営理念として、安全の確保です。(安全基本方針)を次の様に掲げて、理事長以下役職員が周知・徹底をさせています

#### 基本方針

1. 一致協力して安全遂行に取り組みます。
2. 安全輸送に関する法令及び規定を理解する様に努め、誠実に職務を遂行します。
3. 職務の実施にあたり、確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱をします。
4. 事故、災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置を行ないます。
5. 常に安全意識を持ち、情報は漏れなく敏速正確に伝え、透明性を確保します。
6. 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。

以上の基本理念を実行する為に、安全輸送の管理体制や索道施設の保守管理、運行の管理規定に記しており、これらは利用者の安全確保を目的とするものです。

## 安全目標

平成28年度－29年度 索道輸送安全目標は次の通りです。

区分	項目	内容
安全目標	設備不具合による事故	死亡につながる事故を発生させない
	人身傷害事故	無事故を目標とする

## 事故発生などの発生状況と再発防止について

### 1. 索道運転事故

平成28年度は、索道運転事故はありませんでした。

### 2. 災害（地震・暴風雨・豪雪）

平成28年度は、災害に寄る運行停止等はありませんでした。

### 3. インシデント（事故の兆候）

インシデントはありませんでした。

## 輸送の安全確保のための取り組み

### 1. 人材教育について

職員の知識、技能向上を図るため、教育、訓練を実施しております。

### 2. 緊急対応体制について

毎年、シーズン営業開始前に、リフトの救助訓練、火災などを想定した消火訓練、避難等を実施しています。

### 3. 安全のための投資と支出について

安全対策維持と向上のため、営業収入の3割を目処に施設の維持管理・修繕費に充当しています。特に、施設の営業前の点検には入念に点検をして老朽化に伴う再新化を確実に実施しています。

## 安全管理体制について

理事長以下、安全管理体制を構築し各責任者の責務を明確にしています。

## 整備の実施について

春から秋にかけて整備点検を実施、また、シーズン中は1月及び2月にグリースアップ、増締め等を実施しております。

## 外部点検について

- ・各リフト共に索道整備は、日本ケーブル株式会社 長野支店  
1 2月～2月 2回点検実施
- ・電気設備点検は、北陸電気保安協会  
毎月点検実施

## 利用者の皆様へ

特定非営利活動法人あわすのは、お客様の要望、期待に対応出来る様にサービスの提供に努力していますが、今後も皆さまからのご意見ご批判を真摯に受け止めて、楽しんでいただけるスキー場を目指しています。

リフト整備の様



リフト点検の様

リフト部品整備の様様



救助訓練の様様

同上

